

施策番号	1703		
施策名	食や生活環境の安全・安心の確保		
概要	食の安全・安心の確保や公共の場での禁煙の推進等，地域における衛生的な生活環境の向上により，市民や観光客の健康を守る取組を推進する。		
担当局・部室	保健福祉局・保健衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市食の安全安心推進計画（平成23年度～27年度） 京都市たばこ対策行動指針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	京・食の安全衛生管理認証制度認証数(件)	b	e	83	95	143	66.4%	e	1.00
2	40歳以上75歳未満の非喫煙者の割合(%)	c	b	84.8	85.7	87	98.5%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	d	客観指標総合評価				d	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	安心して食べられる食品が手に入るなど，衛生的な生活環境が整っている。	82	269	137	31	12	531	b
		15.4%	50.7%	25.8%	5.8%	2.3%		
2	公共の場では禁煙が進んでいる。	214	229	64	26	16	549	a
		39.0%	41.7%	11.7%	4.7%	2.9%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						a



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						24 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	d	☒ 市民の実感	a			
(重み付けの理由) 食品に対する安心感や公共の場での禁煙状況等については、全ての市民の生活に密接に関わる施策であるため、市民生活実感調査を重視する。							24 年度	B
(原因分析) ・食の安全・安心に係る啓発等の推進により事業者の意識は高まっているものの、まだまだ事業者への制度の周知が十分に行き届いておらず、食の安全衛生管理認証制度のさらなる普及が必要と考えられる。 ・市民の実感では、公共の場での禁煙が進んでいるとの評価であり、分煙ならびに受動喫煙の防止が徹底されつつあるものと考えられる。							23 年度	A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	食鳥検査	64,700	64,316	普通	保健福祉局
2	犬・猫の不妊手術	26,634	25,088	かなり良い	保健福祉局
3	食の安全・安心	99,242	98,151	かなり良い	保健福祉局
4	家庭用品衛生対策	2,914	2,692	かなり良い	保健福祉局
5	狂犬病予防	92,771	93,223	良い	保健福祉局
6	たばこ対策推進事業	84,323	72,960	普通	保健福祉局
7	京都動物愛護センター(仮称)プレ事業	—	5,625	—	保健福祉局
8	そ族昆虫駆除対策	135,468	135,925	良い	保健福祉局
9	営業関係(環境)	120,679	117,453	普通	保健福祉局
10	各種事業助成(京都府生活衛生営業指導センター研修活動事業補助金)	1,683	1,683	良い	保健福祉局
11	生活衛生関係営業者に対する相談業務委託	683	683	良い	保健福祉局
12	京都市市営墓地(旧:京都市共葬墓地)	31,931	39,441	良い	保健福祉局
13	京都市中央斎場	364,043	387,457	良い	保健福祉局
14	衛生環境研究所運営	673,807	671,543	良い	保健福祉局
15	京都市深草墓園	33,451	26,644	—	保健福祉局
16	中央斎場の将来構想策定	3,663	207,923	—	保健福祉局
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・生食肉や食品等の放射能汚染等の社会問題化した事件、事故の発生により、食の安全・安心に対する市民の関心は一層高まっているため、食品事業者はもとより、市民一人ひとりの食の安全安心に対する意識向上、正しい知識の普及啓発に努め、安心な食生活の実現を目指していく。
・学校教育における喫煙防止教育の実施など、教育委員会と連携した取組や、禁煙推進に取り組む民間団体との連携、共汗・融合の観点から総合的な施策の推進に取り組んでいく。

施策名	1703	食や生活環境の安全・安心の確保				
-----	------	-----------------	--	--	--	--

指標名	京・食の安全衛生管理認証制度認証数（件）					
-----	----------------------	--	--	--	--	--

担当課	保健医療課	連絡先	2 2 2 - 3 4 1 1		
-----	-------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

「京（みやこ）・食の安全衛生管理認証制度」を取得した事業者数

2 指標の意味

食品等事業者における食品の安全衛生に係る取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	83	95	12件増	143	中長期目標のために当該年度達成すべき数値	66.4%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		324	27年度	29.3%	食の安全安心推進計画

5 評価基準

最新数値が前回数値と比較して
a: 60件以上の増加
b: 45件以上～60件未満の増加
c: 30件以上～45件未満の増加
d: 15件以上～30件未満の増加
e: 15件未満の増加

6 基準説明

本件目標値は、増加数が毎年20件ずつ増加するものとして設定しており、25年度の評価基準の判定値では、最新数値の増加が60件となるよう設定している。
(23年度20件、24年度40件、25年度60件、26年度80件、27年度100件)

7 評価結果

23	24	25
b	e	e

1 指標の説明

40歳以上75歳未満のたばこを吸わない市民の割合

2 指標の意味

受動喫煙防止による健康増進への進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、非喫煙率を算出
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	84.8	85.7	0.9ポイント増	87	京都未来まちづくりプランに掲示	98.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		87	23年度	98.5%	京都未来まちづくりプラン 24年度数値が確定していないため、昨年度の評価を据え置いている。

5 評価基準

最新数値が
a: 87%以上
b: 85.6%以上～87%未満
c: 84.3%以上～85.6%未満
d: 82.9%以上～84.3未満
e: 82.9%未満

6 基準説明

当該指標については、平成20年度の実績（82.9%）を基準値とし、中長期目標値の達成をa、基準値未満となることをeとして等間隔に割り振った。

7 評価結果

23	24	25
c	b	b